

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	4年度
事業名	小中学校総合学習活動推進事業	担当課	教育課
事業内容(簡潔に)	自ら考え体験し、問題を解決していく力を養うための情操教育の向上を図る。		

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	夢を持ち、明日を担う人材を育むまちづくり
	政策	やさしさと思いやりを育み、楽しく学べるまちづくり
	施策	学校教育の充実
関連する個別計画等		根拠条例等

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	変化の激しい社会に対応して、自ら課題を見つけ、学び、考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること。
事業の手段	各学校独自に「総合的な学習の時間」において、自然体験等の校外活動、地域の住民などの外部講師を招いた学習等により実施している。
事業の対象	小学生（3年生～6年生） 中学生（1年生～3年生）

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		元年度	2年度	3年度
A	事業費 (千円)	2,678	839	3,446
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源	2,678	839	3,446
B	担当職員数(職員 E) (人)	0.04	0.04	0.04
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	269	263	263
D	総事業費(A+C) (千円)	2,947	1,102	3,709
主な事業費用の説明	外部講師による講演会等の講師謝金、校外活動用のバス借り上げ料			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)、3年度(6,582千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			元年度	2年度	3年度
活動指標	1 外部講師招聘回数	回数 金額	9回 118千円	12回 155千円	7回 85千円
	2 校外活動用バス運行台数	台数 金額	48台 2,546千円	8台 684千円	45台 3,361千円
	3				
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	新型コロナウイルス感染症により外部講師の招聘が難しい中、リモート開催など工夫をして行い、自ら考え問題を解決していく生きる力を養うための教育を推進している。			
	2	新型コロナウイルス感染症により制限のある中、バスの台数を増やし三密を回避するなど工夫をして校外活動や職場見学等を行い、自ら体験し問題を解決していく生きる力を養うための教育を推進している。			
	3				

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			元年度	2年度	3年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	外部講師等による講演会を実施した割合 (%)	実施校数/学校数 100 (7/7)	85 (6/7)	71 (5/7)
	2	校外活動を実施した割合 (%)	実施校数/学校数 100	100	100
	3	児童生徒一人当たりのコスト (円)	事業費/児童数(3年生以上) 生徒数(全校生徒) 1,568	504	2,149
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と成果の内容説明	1	新型コロナウイルス感染症により外部講師等による講演会が実施できていない学校もあるが、工夫をしながら「総合的な学習」を計画的に目標に沿って実施できるよう努力をした。			
	2	新型コロナウイルス感染症により例年通りの活動はできなかったが、工夫をしながら「総合的な学習」を計画的に目標に沿って実施できるよう努力をした。			
	3	新型コロナウイルス感染症対策により、三密を回避し安全に実施できるようバスの増便を行ったため、一人当たりのコストは増加傾向にある。			

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大 (コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 (事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善 (内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小 (規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止 (廃止の検討が必要)				
事務事業の改善案	改善の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)				
	令和4年度の改善計画 (今後の事業展開説明) 引き続き新型コロナウイルス感染防止に留意しながら、学校や地域の実態等に応じて、児童生徒の興味・関心等に基づく創意工夫を生かした「総合的な学習」をより充実した内容となるよう指導していく。				
改善の経過	職業観や勤労観の育成を目的として、日本プライダル協会主導のもと学校ウエディング事業を実施。 (R1: 西中、R2: 東中、R3: 新型コロナウイルス感染症により中止)				
直近の評価結果	内部評価	平成30年度	<input type="checkbox"/> 拡大 - <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		
	評価時の改善案	愛着と誇りを持てるふるさと教育の観点から、さらに地域資源を活用した内容を検討する。			
	外部評価	対象外	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		
	評価時の対応	対象外			
課長所見	学習指導要領の改訂を踏まえ、総合的な学習の時間における改訂のポイントである、探究的な学習過程の一層の重視や各教科を関連付けした授業づくりを地域資源(自然・人財)を活用しながら工夫して進め、児童生徒が探究的な見方・考え方を働かせた主体的・対話的で深い学びの実現に繋げる必要がある。				